

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：田村 潤 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 医療白書:(2016-2017年版)	共著	2016年7月	日本医療企画	新しい地域医療への挑戦(総ページ数:244頁) (監修:西村周三、著者名:澤憲明、田村潤ほか 20名) 第2部第3章:岡山大学メディカルセンター構想 と地域医療連携推進法人(6頁)を担当
	医事業務:2018年5月1日号	共著	2018年5月1日	産労総合研究所	特集 いよいよ始まる施設基準管理士の育成と 資格制度(総ページ数:31頁) 事例 1:診療情報管理士の施設基準届出・管理 への取り組み(3頁)を担当
2	(学術論文) 地域医療計画における医療 連携体制の構築について ～神奈川県鎌倉市の例～	単著	2010年3月	国際医療福祉大学 大学院医療福祉学 研究科:学位論文	論文の概要:神奈川県鎌倉市を調査地域として 地域医療計画に示された連携体制と実態との相 違を検証したもの。二次医療圏の圏域設定と受 療行動が合致していないことや二次医療圏を超 える連携が行われ圏内に限定する理由に乏しい ことなどが判明し、二次医療圏域は単に人口や 既存行政圏との整合性から設定されるのではなく、 治療までの許容時間や住民の受療行動の考慮 が必要とまとめた。(総ページ数:87頁)(著者 名:田村潤)
3	(調査・報告) データ提出加算の適用拡大と 診療情報管理士の必要数に 関する考察	単著	2016年3月	診療情報管理 第27巻 第4号 2016年3月	報告の概要:「データ提出加算」の義務化に伴う 診療情報管理士の必要配置数について推計を 行ない、全ての病院・有床診療所が届出を行う には20,854名の養成・認定が必要であること。充 分に10年ないしは30年程度を要し、単に養成 の拡充だけでなく、施設基準の緩和等も必要と 考察された。(総ページ数:4ページ)(著者名: 田村潤)
4	(学会発表) 診療機能情報提供制度の教 育への応用について ～実習における病院選択へ の有用性～	単独	2022年9月	第48回日本診療情 報管理学会学術大 会	報告の概要:病院実習では機能性などを根拠に 病院を選択していると言い難く、診療機能情 報提供制度を用いた調査方法を考察・試行した もの。ホームページの盲信が少なくなり、病院概 況をデータで把握する習慣付けに寄与した事か ら、有効であるとの結論を得られた。(発表者名: 田村潤)
5	(研究・報告) わが国におけるICD-11コー ディング導入に関する問題点 の抽出と解決及び先進国に おける疾病統計に係る情報分 析	共同	2021年	厚生労働科学研費 補助金 政策科学 総合研究事業(統計 情報総合研究)(厚 生労働省、主任研 究者:末永裕之)	報告全体の概要:本研究はわが国へのICD-11 導入に際し、問題点の抽出とそれを解決しよ、普 及と啓発に資することにある。今年度は外科系・ 内科系のサマリー問題を作成し、ICD-10と ICD-11にてコーディングを行い評価し、本邦に 導入する際の問題点を整理した。(総ページ数: 88頁) (分担研究者名:須貝和則ほか8名、ICD-11に 係る研究協力者:田村潤ほか125名) 担当部分の概要:外科系・内科系のサマリー問 題からICD-10とICD-11にてコーディングを行っ た。(担当ページ:P5～26)